

合併20周年記念事業

第20回香美市スポーツ大会 実施要項

1. 趣 旨

この大会は、スポーツを楽しむ機会を得ることによって、香美市におけるスポーツの振興を図り、強健な体と明るく豊かな心情を培い、地域社会のひとづくりの要請にこたえるものである。

2. 主 催

香美市・香美市教育委員会

3. 共 催

香美市スポーツ協会

4. 開催期日

- ①令和8年 9月26日(土) [弓道(高校生以下の部)]
- ②令和8年10月12日(月祝) [男女混合バレーボール]
- ③令和8年10月25日(日) [女子バレーボール]
- ④令和8年11月 1日(日) [バドミントン]
- ⑤令和8年11月29日(日) [卓球]

5. 種目・会場・開会時間

種 目		会 場	開 会 時 間	備 考
弓 道(高校生以下の部)		山田高校弓道場	9月26日(土) 午後1時30分	雨天決行
男女混合バレーボール		土佐山田体育館	10月12日(月祝) 午前9時00分	
女子バレーボール		土佐山田体育館	10月25日(日) 午前9時00分	
バドミントン		香北体育センター	11月1日(日) 午前8時50分	
卓 球		土佐山田体育館	11月29日(日) 午前8時30分	

6. 参加資格

- ①香美市に在住、在職、在学の中学生以上で、健康である者。
- ②香美市のスポーツ団体に所属している者。
- ③以上①、②のいずれかに該当する者。
- ④参加資格については、申込責任者がその責任を負うものとする。参加資格に違反のあった場合は、個人の種目は個人の種目を、チームの種目はそのチーム全体を失格とする。

7. 参加制限

参加選手は、原則として一人一種目とする。また、申込多数の場合は抽選とする。

8. 表彰

各競技種目については次のとおり表彰する。

- ①団体、個人第1位には優勝杯を授与する。但し優勝杯は持ちまわりとする。
- ②団体、個人とも第3位まで表彰状及び副賞を授与する。

9. 参加手続

①期 限

【弓道(高校生以下の部)】	令和8年 9月16日(水) 必着
【男女混合バレーボール】	令和8年 9月30日(水) 必着
【バドミントン】	令和8年9月30日(水) 必着
【女子バレーボール】	令和8年10月9日(金) 必着
【卓 球】	令和8年11月18日(水) 必着

②申込先:大会事務局(13のとおり)

③申込みは主催者が規定した申込書により参加料を添えて大会事務局まで申し込むこと。

なお、各チームにて申込書の控えをおくこと。

④参加料(賞品代等を含む)については、以下のとおりとする。

(個人種目) 1人	200円 (卓球 / 弓道)
(団体種目) 1チーム	2,000円 (女子バレーボール)
1チーム	1,500円 (男女混合バレーボール / バドミントン)
1チーム	1,000円 (卓球)

※ 卓球個人・団体の両方に出場する場合の参加料は、団体種目のみの金額とする。

※ 申込締切後の参加者都合による棄権については、参加料の返金はできませんのでご了承ください。(荒天等で大会事務局が中止を判断した場合は参加料を返金いたします。)

⑤参加申込み後の選手の変更については、申込責任者が選手変更届を作成し、当日の競技開始前に各種目の審判長に提出すること。

10. 組合せ抽選

事務局と種目別役員による代理抽選とする。

11. 医 療

競技中の参加選手・役員の負傷等については、応急処置をするが、保障等の責任は負わない。

12. 問合せ事項

天候等により大会実施が不明の場合は、大会事務局と種目別役員で協議を行い、大会2日前の金曜日17時までに開催の可否を決定する。問合せ先については下記のとおりとする。

13. 大会事務局

〒782-0054 香美市土佐山田町植1252-2

香美市生涯学習振興課 土佐山田スタジアム(担当:鈴木)

TEL 0887-57-0586(担当直通) FAX 0887-57-0587

14. 開会式・閉会式(種目別で実施の有無を判断する)

15. 大会役員

大 会 長 依光 晃一郎

大会副会長 前田 圭一

参 与 岩崎 正身

委 員 宇根 由紀 鈴木 康晴 坂田 康孝

16. 種目別参加規定

☆弓 道

- (1) 種 別 高校生以下の部
- (2) 競技規定 全日本弓道連盟競技規則に準じて行う。
- (3) 競技方法 ①個人競技(高校生以下の部)とする。
②審判は相互審判とする。

☆バレーボール

- (1) 種 別 男女混合6人制 / 女子6人制もしくは9人制
- (2) 参加人員 1チーム監督1名、選手は男女混合12名以内・女子15名以内で編成する。
男女混合は、参加申し込み先着6チームまでとする。
- (3) 競技規定 ①日本バレーボール協会6人制及び9人制競技ルールに準じて行う。
②男女混合は、コート上に2名以上の女子がいること。なお、50歳以上の男子は女子枠とみなす。
③女子は、6人制と9人制チームが対戦することも可能とする。
④ネット・コート及び使用球は次のとおりとする。

種 別	ネット	コート	使用球
混 合	2. 30m	18m×9m	5号球
女 子	2. 05m	18m×9m	4号球

- (4) 競技方法 ①ソーンリーグ、決勝トーナメント方式による。ただし参加チーム数により変更することがある。
ソーンリーグで勝率が同じ場合は、セット率で決定し、それも同じ場合は得失点差率で決定する。
参加チーム数により、各チーム合意のうえで、1セットマッチとする場合がある。
- ②審判員(主審・副審)は各チーム相互とする。

☆卓 球

- (1) 種 別 団体・個人(1部・2部)※申込状況により、希望クラスにならない場合あり。
- (2) 参加人員 1チーム監督1名、選手4～6名で編成する。
- (3) 競技規定 ①日本卓球協会規則に準じて行う。
- ②団体戦及び個人戦を行う。個人戦参加者数の制限はしない。
- (4) 競技方法 ①参加チーム数により、リーグ戦・ソーンリーグ戦のいずれかを採用する。
- ②試合順序
1. 単 2. 単 3. 複 4. 単 5. 単
- ただし、1・2番の選手は同時には、3番の複を編成できない。
- ③3試合先取で打ち切りとする。
- ④審判員は各チーム相互とする。

☆バドミントン

- (1) 種 別 団 体(1部・2部・3部)※申込状況により、希望クラスにならない場合あり。
- (2) 参加人員 1チーム選手4名以上で編成する(男女の区別なし)。
- (3) 競技規定 ①日本バドミントン協会競技規則に準じて行う。
- ②シャトルコックは、一定、主催者が準備していますが、不足した場合は各チームで出してください。
- (4) 競技方法 ①参加チーム数により、リーグ戦・ソーンリーグ戦のいずれかを採用する。
- ②団体戦は3複とする。1試合で兼ねられるのは2人までで、1人1回までとする。また、1試合に同ペアで2回出ることはいできない。
- ③得点は、主催者が決定する。
- ④審判員(主審・副審)は各チーム相互とする。
- (5) その他 参加者多数の場合、抽選とする。